

あなたは...

No. 1-1

避難所巡回の市役所職員

一般の避難所には、福祉避難所に入所させる該当者はいなかった。だが、ある避難所で、車中での避難を余儀なくされている要配慮者の情報を聞いた。とはいえ、他にも要望があれば全てに対応することは難しい。

車中泊の避難者の ところに向かう？

YES? 向かう

or

NO? 避難所巡回を優先する

あなたは...

No. 1-2

ある要配慮者担当のケアマネジャー

明日、台風が最接近するものの、市職員から、天候が悪化すれば避難が難しくなることから今日の夜までに避難したほうが良いと連絡を受けた。だが、本人の体調は、数日前より悪化しており、移送や避難所生活でのリスクもある。

市職員の指示に従って 要配慮者を避難させる？

YES? 避難させる

or

NO? 避難させない

あなたは...

No. 2

ある通所介護の運営職員

1階部分が大きく浸水し使用できなくなり、さらに2階は使用可能なもののエレベーターが故障してしまい、利用者の昇降作業は難しい。上司からは、他の施設との兼ね合いから当初予定していた定員通り受け入れられるか確認してほしいという連絡が来ている。

当初定員の通り受け入れる？

YES? 受け入れる

or

NO? 断る

あなたは...

No. 3

ある要配慮者の担当ケアマネ

担当の要配慮者は、家族とも疎遠で地域からも敬遠されており、1日間自分の自宅に避難させている。だが指定の福祉避難所はすでに受け入れ定員を大幅に超えている。ある特養は福祉避難所に指定されていないが、職員の被災、本来業務とは異なる業務にあたっており、疲弊しているという。

特養に福祉避難所を開設 するよう提案する？

YES? 提案する

or

NO? 自宅で様子を観る

あなたは...

No. 4

受け入れ施設の管理職

福祉避難所に指定されるという通知が来たが、利用者も多く十分な受け入れが難しい。事前に指定を公表すれば、被災した場合に、受け入れ人数を超えた避難者が来てしまうかもしれない。HP等への公表は任意だという。

事前に福祉避難所の指定を公表する？

YES? 公表する

or

NO? 公表しない

あなたは...

No. 5

福祉避難所担当の市役所職員

担当者として、要配慮者の災害時ケアプランはあるが心身の状態に関する情報提供は定めていない。そのため、指定福祉避難所の運営職員らが、避難者や家族から心身の状態、病名や投薬の情報について避難所内で個別に聞き取っている。避難者の状況から聞き取りが困難な場合もあり、情報提供すればすぐに避難所運営にあたることができる。

個人情報を提供する？

YES? 提供する

or

NO? 提供しない

あなたは...

No. 6

避難所の運営職員

福祉避難所の開設から5日。人員はギリギリで、デイサービス等の日常業務が十分行えていない。社協側もボランティアセンターの運営で忙しく、周りのケアマネなどのスタッフもからも不満が出ている。

通常業務を優先させるよう上司に言う？

YES? 上司に相談する

or

NO? 避難所を優先する

あなたは...

No. 7

ある認知症高齢者の担当ケアマネ

追加のスペースが少なく、パーティションはあるものの十分なプライバシーを守ることが難しい。広い空間とはいえ多くの人がいるため、担当の認知症の高齢者は不安や恐怖でパニックや大声を挙げてしまい、周りトラブルをおこしてしまうかもしれない。

受け入れ人数を減らしてスペースを広げるよう提案する？

YES? 提案する

or

NO? そのままにする

あなたは...

No. 8

福祉避難所の受付担当

大きな災害が発生したことから、要配慮者だけでなく、一般の避難者もこの施設に避難して来てしまっている。このまま受け入れていると更に一般の避難者が来て、福祉避難所の運営が難しくなるかもしれない。

**一般避難者に出て行って
もらうよう上司に提案する？**

YES? 提案する

or

NO? 提案しない

あなたは...

No. 9

福祉避難所の施設長

福祉避難所として開設したが、日々詳細な書類手続きが必要である一方で、避難者が10名を超えそうだ。だが、避難者の対応で、書類作成の余裕はない。手続きをしない場合、福祉避難所の指定外となり資金・物資・人員の援助が得られなくなる。

福祉避難所の指定を止める？

YES? 指定を止める

or

NO? 書類作成に人員を割く

あなたは...

No.

「

」

「

」

「

」？

YES? 「

」

or

NO? 「

」

あなたは...

No.

「

」

「

」

「

」？

YES? 「

」

or

NO? 「

」

実際の被災地より... (課題①) **No. 1-1**

2014年の広島土砂災害では、多くの要配慮者は、避難所生活は難しいことから、危険であっても自宅などで避難生活を行わなければならなかった。その一方で、役場職員は一般の避難所ばかり巡回しており、福祉避難所への避難者はいない、と判断していた。そのため、福祉避難所に避難できた人の「7割」はケアマネジャーや生活相談員らの助言を受けていたという。

解決のヒント...

- 被災前に...
 - ・避難経路や方法を決めよう
 - ・実際に福祉避難所までの避難訓練を試してみよう
- 被災したら...
 - ・顔の見える信頼関係のある人（ケアマネジャー等）から直接移送を考えよう
 - ・一般の避難所にはそもそも避難「できない」と思っておこう

実際の被災地より... **No. 1-2**

2023年（令和5年）台風7号が襲った福知山市では、要配慮者を最接近の前日に避難させようと行政職員がケアマネジャーに提案した。だが、ケアマネジャーは、要配慮者の体調が悪化しており、福祉避難所への移送の方がリスクがあると思い、避難させるべきでないとして再提案した。その要配慮者は避難せず、その2日後に病状悪化のため亡くなった。

解決のヒント...

- 被災前に...
 - ・誰がどこに行くのか事前に住民、議論しておこう
 - ・現場・防災・医療3つの連携を綿密にしておこう
- 被災したら...
 - ・避難所への避難だけではなく、現場の判断を伝え、総合的に判断しよう

実際の被災地より (要確認) ... **No. 2**

福知山市内の通所介護施設では、浸水によって長期間1階部分が使えなくなってしまった。2階へのエレベーターも使えなくなってしまったことから、人力での2階へ利用者の昇降を行うこととなってしまった。

解決のヒント...

- 被災前に...
 - ・ハザード（地震、洪水等）ごとの施設の安全性を確認しておこう
- 被災したら...
 - ・災害救助法で負担可能なもの（ポータブルトイレ、手すり、仮設スロープ、情報伝達機器、（段ボール）ベッド、パーティション等の器物、紙おむつ、ストーマ用装具等）を購入しよう
 - ・医療的ケアが必要な人が避難する場合は、看護師等の人材や衛生用品の確保が可能な場合があることを覚えておこう

実際の被災地より... **No. 3**

豪雨水害によって被災した福知山市では、ある独居の高齢者が避難することができない状況であった。家族とはすでに疎遠になっており、徘徊によって地域でも孤立してしまっていた。このままでは被災してしまうと考えた担当のケアマネジャーは、自分の自宅に要配慮者を招いて避難させる決断をした。

解決のヒント...

- 被災前に...
 - ・災害時ケアプランや避難先について確認しておこう
 - ・人員不足を想定し同行家族や住民にも手伝ってもらおう（運営の想定や誰でもできることのリスト化をしておこう）
- 被災したら...
 - ・福祉避難所の空き、一般避難所の福祉スペースでの対応を行政と相談しよう
 - ・ケアマネからの提案で福祉避難所を開設した事例をおあることを覚えておこう

実際の被災地より...

No. 4

2016年熊本地震で被災した熊本市では指定福祉避難所は176ヶ所、合計1,700人を受け入れられるとされていたが、実際は施設は想定約4割、人数は想定約2割しか受け入れられていなかった。事前に場所が公開・告知されていなかったことから、受け入れ避難所の収容者数は想定約1.5倍となり、行政からの水や食料などの救援物資が不足してしまった。

解決のヒント...

- 被災前に...
 - ・福祉避難所の周知や、避難所までの避難訓練を行うこと
 - ・福祉避難室や病院の活用も含めて地域で受け入れ体制を広げよう
- 被災したら...
 - ・避難者は「来てしまう」ことを念頭に、地域全体（市町村外も含む）で受け入れよう

実際の被災地より...

No. 5

2011年東日本大震災で被災した岩手県内の福祉避難所では、市町村によって個人情報や名簿の情報提供に関する認識が異なっていた。そのため、福祉避難所の運営側が個別に本人や家族から病状や投薬の情報を聞き取らなければならなかった。本人の状況によっては、直接聞き取ることが困難な場合や、大きな負担となる場合もあり、福祉避難所の運営に大きな支障が出た。

解決のヒント...

- 被災前に...
 - ・公開して良い避難支援等関係者（民生、自治会、自主防等）の範囲を決めよう
 - ・持病・常用薬などの情報提供が可能か本人や家族と相談しておこう
- 被災したら...
 - ・命や身体に係る場合は個別避難計画（災害時ケアプラン）の情報を「同意なし」に提供できることを覚えておこう

実際の被災地より...

No. 6

2011年東日本大震災で被災した仙台市の福祉避難所（障害者福祉センター）では、避難所を開設した約2ヶ月間は、震災前の通所サービス業務を実施できなかった。避難者には、重度の身体不自由者や自閉症の避難者もいた。外部応援のスタッフは派遣されていたものの避難者対応にかかる日中・夜勤のシフトや追加の食事準備もあり、通常業務への支障や避難の長期化に繋がった。

解決のヒント...

- 被災前に...
 - ・被災（災救法適用）時に使える支援（人・設備・資金）を確認しておこう
 - ・受け入れ施設側においても事前にBCP等の策定を行っておこう
- 被災したら...
 - ・福祉避難所後について仮設住宅等への優先的な入所や暮らしの場を相談しよう
 - ・運営スタッフの疲労やストレスへのケアも大切にしよう

実際の被災地より...

No. 7

2016年熊本地震では、多くの認知症高齢者や障害者らは、車中泊や危険な自宅での避難を行っていた。ある障害当事者は、避難所では健常者ばかりで、主な情報はチラシなどの視覚的な情報ばかりで、コミュニケーションがとれないことが辛かったという。また、内部障害がある人は、補聴器や歩行補助具など目に見えやすい器具をつけている人と比べて支援が得られなかった。

解決のヒント...

- 被災前に...
 - ・地域の要配慮者について行政や住民同士で共有し話し合っておこう
 - ・福祉避難所の協議や避難訓練時には当事者にも参加してもらい意見をもらおう
- 被災したら...
 - ・避難所に行けない要配慮者がどこにいるか想像し、支援を考えよう

実際の被災地より...

No. 8

2016年熊本地震で被災した益城町では合計5ヶ所で福祉避難所が設置された。ところが、要配慮者以外にもかなりの住民が被災し多くの一般避難者が殺到することになった。ある特養では約50人の定員のところに、最大で合計約150名の住民が避難してきており、一般避難者も多く含まれていた。さらに職員も被災し、人手不足となり福祉避難所としては十分に機能しなかったという。

解決のヒント...

- 被災前に...
 - ・追加で受け入れられる設備（ベッド等）を事前に準備しておこう
 - ・地域・行政と連携し、福祉避難所の周知を行おう
- 被災したら...
 - ・要配慮者約10人に1名生活相談員を追加で配置できる（災害救助法適用時）
 - ・定員オーバーを行政に伝え、追加の指定外避難所の確保を相談しよう

実際の被災地より...

No. 9

2014年の広島土砂災害で被災した広島市安佐南区の特養では、当初は福祉避難所としてスタートしたものの、避難者が10名を超え、書類作成ができないと判断し2日で福祉避難所を打ち切った。それまでの費用は施設負担、その後は、介護保険適用のショートステイ利用として利用者に費用負担をお願いすることになった。

解決のヒント...

- 被災前に...
 - ・運営にあたる費用分担・区分、認定の基準、事務負担を行政と確認しておこう
 - ・避難者が増大した場合に候補となりうる施設か確認しておこう
- 被災したら...
 - ・事後認定となった福祉避難所の事例も多いため後からでも行政に交渉しよう

実際の被災地より...

No.

「

」

解決のヒント...

- 被災前に...
 - ・ 「
」
 - ・ 「
」
- 被災したら...
 - ・ 「
」

実際の被災地より...

No.

「

」

解決のヒント...

- 被災前に...
 - ・ 「
」
 - ・ 「
」
- 被災したら...
 - ・ 「
」

